

平成元年 2月10日

各 位

ホンダ・ミッドシップ・スポーツ「コードネーム；NS-X」

シカゴ・オートショウで発表

本田技研工業㈱は、2月11日から米国シカゴで開催されるシカゴ・オートショウに先立ち、同市に於いて2月9日(現地時間)、現在開発を進めているミッドシップ・スポーツカー「コードネーム；NS-X」のプロトタイプを発表した。

この「NS-X」は新開発の3リッターV型6気筒自然給気エンジンを横置きに搭載した後輪駆動車で、徹底した軽量車体とこれまで熟成を重ねてきた数々の先進技術により、ホンダが目指す「爽快な走り」と「高品位化」を実現した独自の新しいコンセプトのスポーツカーである。

エンジンは、自然給気ならではの鋭い立上がりと滑らかな吹き上がりを持つ、最高出力250馬力以上の高回転、高出力型となっている。

車体は、オールアルミ・モノコックボディ及び新設計のオールアルミ四輪ダブルウイッシュボーン・サスペンションなど、素材技術を含めたホンダの持つ軽量化技術のすべてを投入し、軽量高剛性車体を実現している。

「NS-X」は、躍動感溢れるスタイリング、心地良い拘束感が得られるインテリア、優れた運転視界、扱い易い操作系、快適な居住空間、さらに安全面への配慮はもとより、「走る」「曲がる」「止まる」のトータルバランスを徹底追求、高性能にして優れた操縦性を持つ90年代を展望した新時代スポーツカーとなっている。

ホンダはF-1をはじめとした長年にわたるモータースポーツを通じて、独自の「走りの技術」を磨いてきた。今後、この経験をふまえて「NS-X」の完成度をより高め、乗る人に走ることの喜びを味わって戴ける商品に完成させてゆく。

*ミッドシップ = エンジンを後輪車軸より車体中央側に搭載したタイプ(MR方式)

[プロトタイプデータ]

・全長	4,315mm
・全高	1,170mm
・全幅	1,800mm
・車両重量	1,300kg 以下
・ホイールベース	2,500mm
・トレッド	(前) 1,510mm (後) 1,525mm
・車体	オールアルミ・モノコックボディ
・サスペンション	オールアルミ・四輪ダブルウィッシュボーン
・ブレーキ	四輪ベンチレーテッド ディスク ブレーキ ALB付
・エンジン	3リッターV型6気筒 24バルブ 自然給気エンジン
・最高出力	250ps 以上
・最高速度	250km/h 以上
・0~400m加速	14.0sec 以下
・0~100km/hの加速	6.0sec 以下
・その他の装備	・トラクション コントロール システム ・SRS エアバッグ システム